様式S-1c

大型計算機共同利用申請書（C挑戦的研究）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　東京大学地震研究所長　殿

職　名

所属機関・部局名

住　所

電　話

E-mail

下記のとおり大型計算機共同利用へ申請します。

記

**研究課題名：**

**利用計算システム：**　□Oakbridge-CX □Oakforest-PACS　　□Wisteria-O □Wisteria-A

\* 利用を希望する計算システムを一つ選択してください。複数の計算システムの利用を希望する場合は、別々に申請書を提出してください。

\*　研究分担組織あたりトークン量はOakbridge-CXおよびOakforest-PACSは8640ノード時間積、Wisteria-O/Aは8640トークン、また、利用可能な並列ファイルシステムはOakforest-PACSシステムにおいては、1TB、Oakbridge-CXシステムにおいては4TB、Wisteria-O/Aについては、2TBになります。

研究分担組織

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属機関 | 職名 | アカウント希望\*1 |
| （代表者） |  |  |  |
| （分担者） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

\*1 アカウント希望について、〇、×のいずれかをご記入ください。代表者は管理上必ずアカウント作成が必要です。

※1名～5名以下の小グループで申請することが可能です。申請は、5月、8月、11月の月末締で受け付けています。

※大学院進学予定の学部生は、所属機関には大学院を記載し、職名に進学予定と追記してください。（例：大学院生（進学予定））

※利用アカウントについては、希望しても認められない場合があります。利用アカウントが情報基盤センターで認められない場合は、課題自体が採択されません。

１．研究の目的と意義

（研究の目的と意義を、大型計算機を使用する理由と合わせて記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

２．研究内容

（本課題で何をどこまで明らかにするかを含め、具体的に記入してください。また、大型計算機の具体的な利用計画、計算コードの開発状況なども示してください。）

|  |
| --- |
|  |

３．期待される成果

（本課題が採択された場合に期待される成果を記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

※本共同研究の助成を受けた研究成果を論文等に発表する際には、必ず、東京大学地震研究所共同利用の助成および東京大学情報基盤センターの大型計算機を利用した旨の謝辞記載をお願いいたします。